

2019年05月08日

産科婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「若年子宮内膜癌に対する妊孕性温存治療の有効性に関し、既存情報を用いる研究」への協力をお願い

産科婦人科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2006年6月～2019年2月に当科において、子宮内膜癌（体癌）に対する妊孕性温存療法を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2022年 3月31日

研究目的・方法：妊娠を希望される若年子宮体癌患者の妊孕性温存治療(MPA=ヒスロンH療法)の適切な患者選択基準と治療期間を明らかにすることを目的とし、診療録から過去に本治療を受けた患者情報を診療録から抽出し、患者背景や治療継続期間などと妊娠・出産の経過などを比較検討いたします。

研究に用いる試料・情報の種類：

患者年齢、既往歴、産科歴、治療開始時の年齢、身長、体重、排卵障害の有無、画像診断所見、MPA投与期間、投与量、病理診断、手術情報、生殖医療の経過、妊娠の有無、子宮内膜癌の治療経過

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

電話番号 058-230-6349

氏名：古井 辰郎

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

氏名：古井辰郎